

## 大学の理念、ミッションを踏まえたコンセプト (思われない大学のイメージ)

- ・本学は、建学の理念・ミッション・及びSDGs達成に向けた宣言書に基づき、「グローバルな視野で地域課題をイノベーションによって解決できるリーダー」となる人材を育成する。
- ・本学は、そのために、学生が自ら望むキャリアを生涯にわたって達成していく基礎力である、コミュニケーション力、思考力、やり抜く力、協調性、チャレンジ精神等を養い、臨地実習や教育実習の充実を図るとともに、発信力ゼミや高い専門性、英語力等の能力を身に付ける教育、仕組みを整え、実践する。
- ・4年間で、学生は、一貫した体系的キャリア支援により、生涯にわたるキャリアの土台となる人間力と自身のキャリアビジョンを自ら選択・決定する力を身に付けることができる。
- ・本学の教育研究活動、地域貢献活動は、上述のコンセプトの延長線上にある。

### 1 コンセプトを踏まえたキャッチコピーの使用

大学の理念やミッションを踏まえ、明確なメッセージとして下記のキャッチコピーを使用する。

「攻める大学。 変えよう、世界を。」

### 2 学生に与える価値・ストーリー性を持った説明の展開

大学の理念やミッションの達成及びSDGs取組み推進に向け、本学の様々な特長や独自の取組みがあり、それらが有機的につながっていることや一貫性があることをアピールする。

- ・人間力 1年次全寮制、象山学
- ・グローバルな視野 英語教育、海外プログラム
- ・考える力、コミュニケーション能力 発信力ゼミ、少人数教育、双方向の授業
- ・イノベーションの視点 地域の課題解決の支援と学びの連携(CSI)
- ・実践力 インターンシップ、臨地実習、教育実習・保育所実習

### 3 学年進行と教育展開

- ① 初年次は、発信力ゼミ、英語集中プログラム、象山学など初年次教育を実施する。
- ② 2年次の本学の目玉の1つである全員参加の海外プログラム（海外研修）に臨む。

- ③ 海外プログラム参加後は、  
GMは各コースごと専門教育を本格的に実施  
健康発達学部は実習を実施する。(食健康は世界標準 500 時間の臨地実習、こどもは 10 日間×6 回の実習を行い、海外と日本それぞれの共通点／相違点、長所／短所を体感させる。)
- ④ 2 年次以降に専門ゼミを実施する。
- ⑤ 3・4 年次の英語プログラムを実施する。
- ⑥ 食健康は 3 年次後半から卒論の作成にとりかかる。

#### 4 施設・設備の充実

優良な教育環境、最新施設・設備を十分にアピールするとともに、令和 2 年度の広報では、全ての整備工事が完了(令和 2 年 3 月末に外構工事完了)したことを踏まえ、キャンパスの全体像を見せる。